

## 福岡県で唯一の指定! 「WWL カリキュラム開発拠点校\*」に指定

本校は、平成27年度から5年間にわたり文部科学省の指定するSGH(スーパーグローバルハイスクール)としてグローバル人材育成を行ってきました。SGH事業の発展型とされるこの新しいWWLコンソーシアム構築支援事業では、SGH事業で培った成果を生かし、連携する国内外の各種学校・企業・国際機関等と協働してイノベティブなグローバル人材の育成を目指します。令和元年に10校、令和2年に本校を含む12校が指定され、今年度は提携校である京都学園高校も含む6校が指定されました。「食」の課題解決により持続可能な社会を創出するイノベーターの育成を目標として提携校や連携機関と協働しながら教育活動を行っていきます。\*正式名称:WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業カリキュラム開発拠点校

## APUの出口学長が来校 創立60周年記念講演

令和2年11月20日(金)に本校の60周年記念講演として、立命館アジア太平洋大学(APU)の出口治明学長にご講演いただきました。第1部の記念講演では「コロナ禍でどうしても留学や海外への渡航などができず、グローバル化が終わるのではないかとと言われることもあるが、我々の生活を継続するためにはグローバル化は必須であり、決して終わることはない。だからこそ、英語を勉強すべきであり、探究力・問いを立てる力を養う必要がある」というお話でした。第2部では、出口学長と本校生徒の高校2年SGクラス渡邊咲希さん、高校1年GIクラス永島華子さん、中学2年SVコースの山崎彩莉さんなどによるパネルディスカッションが行われました。出口学長から、グローバル人材になるためには高校時代には好奇心を養うこと、勉強する習慣を付けることが大事だというメッセージをいただき、生徒たちにとって今後のあり方を考えるよい機会となりました。



## “「食」のサミット2020”を開催 「食の安全性」について討議

令和3年3月25日に「食のサミット」を開催しました。今年度のテーマは『世界における「食の安全性」に関する諸問題とその解決策』です。事前に海外提携校(マレーシア・ウズベキスタン)とオンライン会議を行い、当日は国内提携校(京都学園高校・高知西高校・中村学園三陽高校)と本校の代表生徒がチームで参加しました。どのチームも問題意識が非常に高く、高校生ならではの視点と柔軟な発想が生かされていました。このサミットで取り上げた問題点の解決策はアクションプランとして共同宣言にまとめ、後日国連WFP協会へ提出する予定です。



## 全校みんなで「食」について考えよう 「WWL報告会」を開催

令和3年3月17日(水)にWWL報告会を開催しました。全校生徒が「食」に関する課題に取り組むことを通じて、食に関しての知識と理解を深め、よりよい社会や今後の未来を考える場として開催しました。講堂ステージにおける代表生徒による研究発表をはじめ、全校生徒で「食と経済」「食と栄養」「食と環境」「食と社会文化」の4領域について取り組むポスターセッションを実施しました。発表した生徒からは、「この研究を通して普段からの食への意識が変わりました。今回の発表をきっかけにして幅広く食を考えていきたい。」などの感想が聞かれました。



## 留学生7名を受け入れ—アジア高校生架け橋プロジェクト—

平成30年度より文部科学省が企画し、AFS日本協会が実施する「アジア高校生架け橋プロジェクト」に毎年本校も協力しています。令和2年度はインド、タイ、フィリピンなど、6カ国7名の留学生を11月末から受け入れました。留学生たちは、授業だけでなく学校行事にも積極的に参加し、寮生活やホームステイなどを通して日本語もずいぶん上達しました。コロナ禍のため当初の予定より滞在期間が短くなってしまいましたが無事に受け入れることができました。本校は本事業の受け入れ数に関して、日本トップクラスです。日本文化への理解を深めたい留学生にとっても、国際交流を希望する本校生徒にとっても、有意義な取り組みとなっています。



## フードロスをなくしたい 「トマトアイス」を共同開発

令和2年度の高校3年SGクラスでは探究活動の集大成としてトマトアイスの共同開発を行いました。この開発には久留米市の老舗アイスメーカー合資会社古蓮、うきは市のトマト農家の株式会社ダダダカンパニーが協力してくださっています。生徒たちはSDGsの「12 つくる責任 つかう責任」の観点からフードロスに着目して開発を始めました。糖度が高く濃厚で高品質なレナトマト。規格外のため市場に出せないレナトマトを丸ごと1個贅沢に使用し、トマト



そのもののうま味が凝縮されたこだわりのあるアイスに仕上がりました。12月1日から本校のカフェテリアだけでなく、「浜勝」や茶房「古蓮」でも販売をしました。生徒たちは「自分たちが開発したアイスが形になって嬉しい」「やりがいを感じる事が出来た」と笑顔で話していました。令和3年度には、岩田屋三越のお中元ギフトにも選ばれています。

## SDGsに関連する解決策を検討 全国高校生SRサミット FOCUSに参加!

令和2年11月13日(金)にSGクラス2年の大島鈴さん、古賀美早紀さん、高村有梨歌さん、本矢歩夢さんの4名が全国高校生SRサミットに参加しました。今回はオンラインで開催されました。ディスカッションは日本語・英語で行われましたが、生徒たちは、自分が社会の一員として目指す社会について考え、どのように社会貢献できるかしっかりと考えることができました。



## 環境保護を考えよう 「福岡Blue Earth塾」に参加

令和2年9月19日(土)に1年GIクラスと2年SGクラスがオンラインで「福岡Blue Earth塾」に参加しました。このイベントは、女子大生のメンバーからなるNPO法人Blue Earth Projectが主催するもので、高校生に環境問題を身近なものとして捉え、その解決策を考えて活動を起こすためのきっかけづくりとして実施されています。グループに分かれ、スタッフ



の指示のもとで環境保護を目的としたアクションプランづくりに取り組み、クラスごとに発表しました。あっという間の3時間でしたが、個性的でユニークなプランを創り出すことができました。

## 学校の中で留学体験! 高校1年グローバルキャンパスを開催

令和2年10月28日(水)と11月4日(水)の2回に分けて、本校の恒例行事となっているグローバルキャンパスを開催しました。このイベントは、高校1年生全員が立命館



アジア太平洋大学(APU)の留学生のべ50名と英会話を通してコミュニケーションを図りながら、自国の文化を紹介し合うといった交流を行うものです。今回は、オンラインでの実施となりました。生徒たちは、各クラスで編成したグループごとに事前準備で調べ考えてきた「食に関する課題とその解決策」の内容について、留学生から意見や助言をもらいながら、少しずつその内容を深めていきました。英会話やコミュニケーションのスキルを高めること、異文化多様性を理解することなどの大切さについて、じっくりと学ぶことができた2日間となりました。

## WWL生徒交流会 SDGsオンラインミーティングに参加

令和2年11月21日(土)に高校1年GIクラスの生徒たちが、WWL生徒交流会SDGsオンラインミーティングに参加しました。授業の関係で全てのプログラムに参加することはできませんでしたが、講演会ではメディアで活躍されている岸博幸氏のお話を聴くことができ、それぞれが有意義な時間を過ごすことができました。同じ課題に対してもアプローチやそれに対する意見は様々であり、本質的に大切なのは「自分」とは何かを認識し、立場や行動などに自分なりの考えを持つことだというメッセージをしっかりと受け取ることができました。



## よりよい街づくりを提案 福津市と協働授業

令和2年度の高校2年SGクラスでは福津市の協力のもと、よりよい街づくりについて探究活動を進めました。7月22日(水)には「食と経済」の学習の一環として、福津市役所の渡辺様と、現地法人「福津いいざい」の森様から、福津市の紹介や抱えている課題などについてオンライン会議を行いました。福津市に関してあまり詳しくなかった生徒たちでしたが、積極的に意見を出し合い、3月13日(土)の水仙祭では、福津市PR動画を発表したり、福津市のバラの花を使ってハーバリウムを作ったりすることでよりよい街づくりのアイデアを提案することができました。

